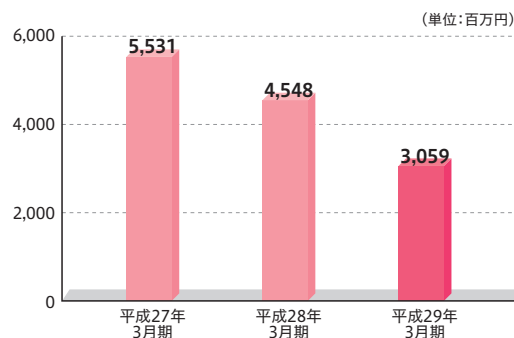


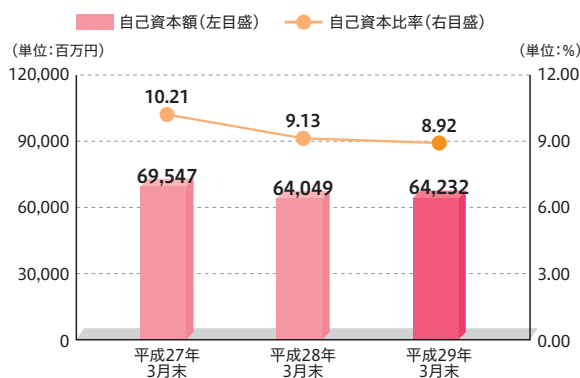
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比14億88百万円減少の30億59百万円(増減率△32.7%)となりました。



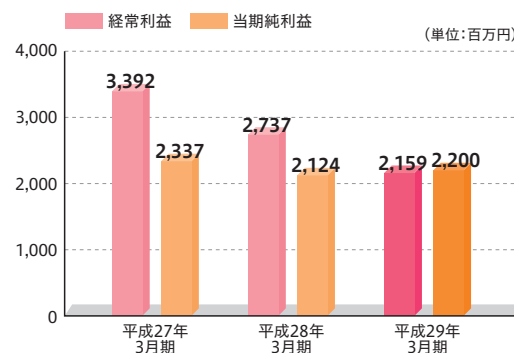
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、当期純利益を22億円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成28年3月末比0.21ポイント低下の8.92%となりました。



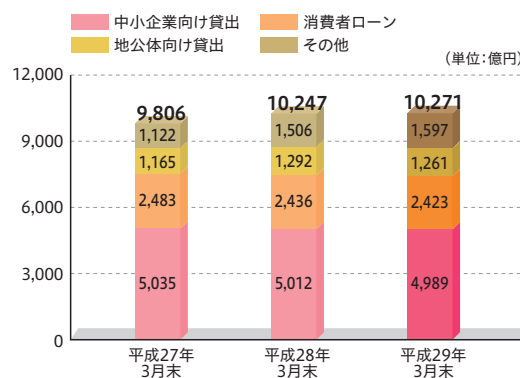
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は前年同期比5億77百万円減少の21億59百万円、当期純利益は前年同期比76百万円増加の22億円となりました。



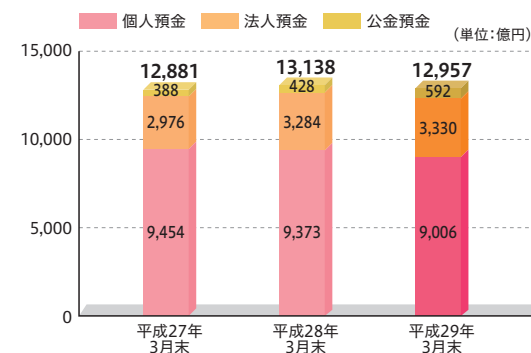
貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業を含む事業性融資が増加したことなどから、平成28年3月末比24億80百万円増加の1兆271億92百万円となりました。



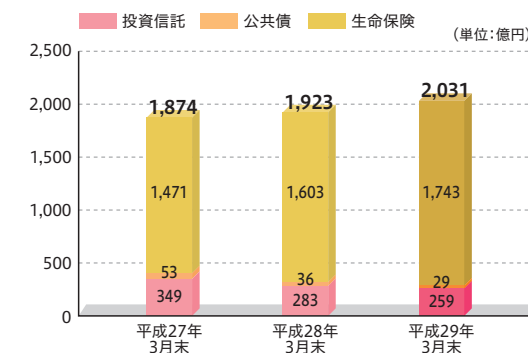
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金は増加したものの個人預金が減少したことなどから、平成28年3月末比180億52百万円減少の1兆2,957億65百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズへの対応により生命保険残高が増加したことなどから、平成28年3月末比108億77百万円増加の2,031億91百万円となりました。

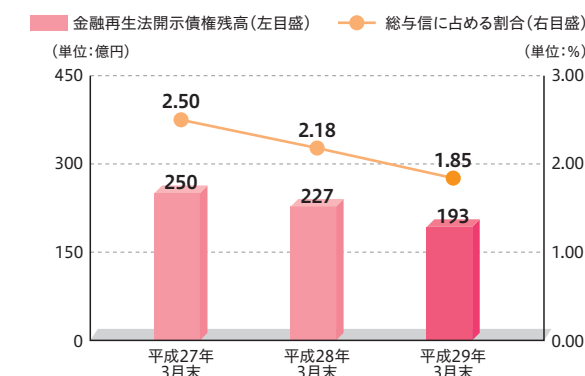


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成28年3月末比33億72百万円減少の193億47百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成28年3月末比0.33ポイント低下し1.85%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

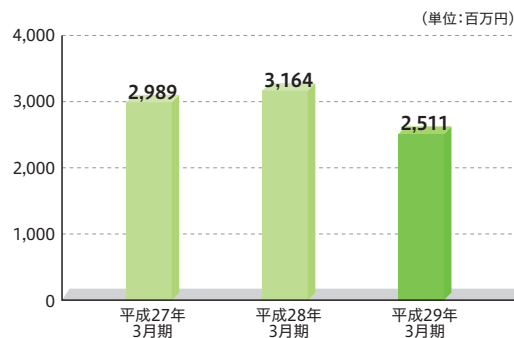
■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ **当期純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

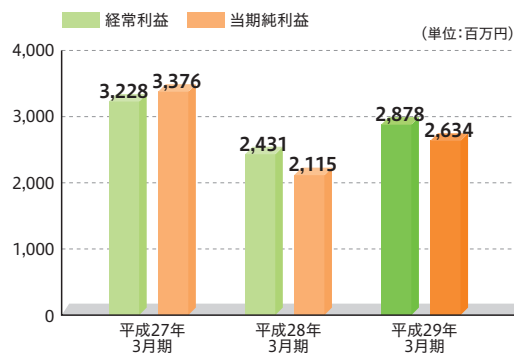
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比6億53百万円減少の25億11百万円(増減率△20.6%)となりました。



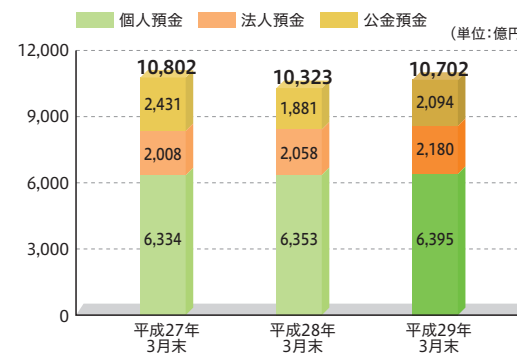
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比4億46百万円増加の28億78百万円、当期純利益は、前年同期比5億19百万円増加の26億34百万円となりました。



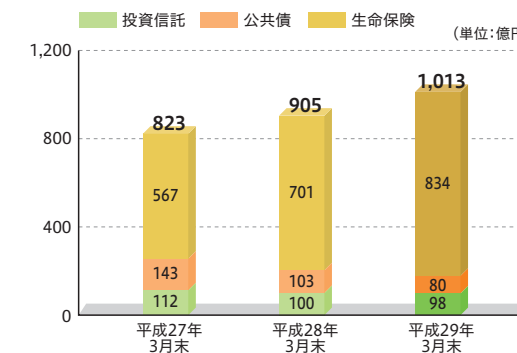
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人・法人・公金預金のすべてが増加し、平成28年3月末比379億70百万円増加の1兆702億円となりました。



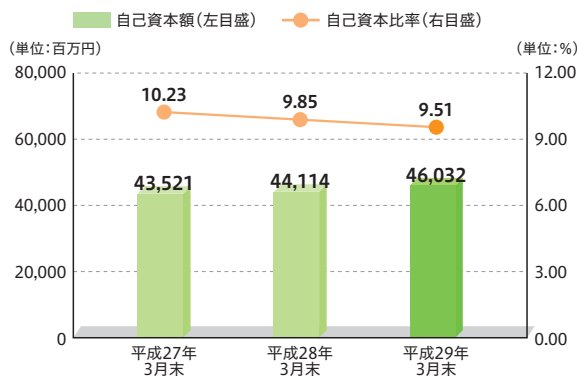
預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成28年3月末比108億3百万円増加の1,013億32百万円となりました。



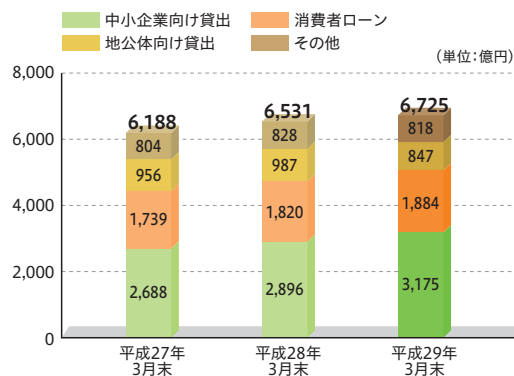
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を26億34百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成28年3月末比0.34ポイント低下の9.51%となりました。



貸出金の状況

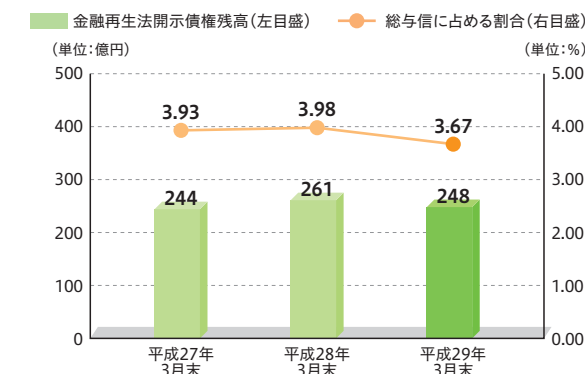
貸出金残高は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応し、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローンが増加したことなどから、平成28年3月末比193億75百万円増加の6,725億62百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、リスク管理債権の回収等により、平成28年3月末比13億83百万円減少の248億12百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成28年3月末比0.31ポイント低下の3.67%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ **当期純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。